

## 第2学年体育科学習指導案

日 時：令和元年7月10日（水）5校時

場 所：品川区立戸越小学校 体育館

対 象：第2学年2組 28名

授業者：高橋 理香

### 研究テーマ

# 進んで運動に取り組む児童の育成 ～学び合い、達成感の味わえる体育学習～

1 単元名 器械・器具を使つての運動遊び「マットあそび」

2 運動の特性

機能的特性	・マットを使つていろいろな方向へ回ったり、転がったり、手で体を支えたり、バランスをとったりなど、日常の動きとは異なつたいろいろな動きを味わうことができる運動である。
構造的特性	・いろいろな動きに取り組む中で、できなかった動きができるようになったり、より上手にできるようになったりしたときに、楽しさや喜びを感じることができる運動である。
効果的特性	・いろいろな動きの中で、友達に補助してもらったり、励ましてもらったりして、友達とのかかわりを深めることのできる運動である。

3 単元の目標

知識及び技能	マットを使つていろいろな方向への転がり、手で支えての体の保持や回転することなどができる。
思考力・判断力・表現力等	マットを使った運動遊びの行い方を知るとともに、運動する場を工夫しながらいろいろな運動のしかたを見つけることができる。
学びに向かう力、人間性等	運動に進んで取り組み、順番や決まりを守り、友達と仲良く運動したり、場の安全に気を付けたりすることができる。

4 評価規準

	学びに向かう力、人間性等	思考力・判断力・表現力等	知識及び技能
単元の評価規準	・マットを使った運動遊びに進んで取り組むとともに、順番やきまりを守り仲よく運動をしようとしたり、運動をする場の安全に気を付けようとしたりしている。	・マットを使った運動遊びの行い方を工夫している。	・マットを使った運動遊びを楽しく行うための基本的な動きや各種の運動の基礎となる動きを身に付けている。

学習活動に即した評価規準	①マットに背中を順番に接触させて、いろいろな方向に転がること ができる。 ②手や背中で体を支えて様々な姿勢で逆立ちや移動したりすることができる。 ③自分で選んだ運動遊びの場で、いろいろな方法で転がったり、逆さでの支持をしたりすることができる。	①マットを使った運動遊びの行い方を見つけている。 ②マットを使った運動遊びの中で、友達のよい動きを見付けている。 ③マットを使って楽しく遊ぶことができる場や遊び方を選んでいる。	①マットを使った運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ②友達と協力して、マットの準備や片付けをしようとしている。 ③運動の順番やきまりを守り、誰とでも仲よく運動しようとしている。 ④運動する場やマットの使い方などの安全に気を付けようとしている。
--------------	--	--	--

## 5 児童の実態・アンケート結果

「マットを使った運動遊び」についてのアンケート

### ① 体育の学習は好きですか？

はい…27人

(体を動かすと気持ちがいいから8人)

(記録がのびるとうれしいから4人)

(友達や先生にほめられるとうれしいから1人)

(できるようになるとうれしいから8人)

(その他8人)

いいえ…1人

(苦手だから)

### ② マット運動は好きですか？

はい…27人

(技ができるようになると楽しいから15人)

(技のポイントがわかるとうれしいから8人)

(友達や先生に褒められると嬉しいから1人)

いいえ…1人

(苦手だから)



#### 【結果】

○体を動かしたり、動きができるようになることに喜びを感じている児童が多い。

○体育に苦手意識を持っている児童もいる。



#### 【結果】

○技ができるようになると楽しいからという理由が多かったが、マット遊びであるので、苦手意識をもっている児童も含めて遊びから感覚作りをしている。

### 【アンケート①～④の結果を受けての考察】

○クラスの児童ほとんど全員が「体育が好き」という回答をしていることから、これまでに経験した運動遊びに楽しんできたことが分かる。本単元で、苦手な児童も「マットを使った運動遊びが楽しい。」と夢中になって遊べるようにしていく必要があると考える。

○「ふわふわとした感覚が好き」「痛くない」「転がることできる」といった、マットの特性を存分に味わわせる学習展開が、マットを使った運動遊びに関心をもたせる上で重要である。マットの特性を味わい、児童が楽しさや喜びを感じることができる魅力的な場を提示する必要があると考える。

○体育が楽しいと思うときの回答として多かったのが「体を動かすと気持ちがいいから」という答えであった。運動に没頭できる場と時間を設定し、やってみたい動き・遊びに取り組む時間を確保する必要がある。また、その中で、友達の動きを見て、新しい動きに挑戦したり、自分の動きを友達に認めてもらったりして、友達と交流する楽しさにも気付かせるようにしていくことが大切であると考え。

6 分科会提案

(1) 目指す児童の姿

- ・マットを使った運動遊びの行い方を知り、いろいろな方向への転がりや、手で支えての体の保持・回転をすることができる児童（知識及び技能）
- ・簡単な遊び方を工夫するとともに、友達の良い動きを見付け、考えたことを伝えることができる児童（思考力、判断力、表現力等）
- ・運動遊びの楽しさに触れ、進んで遊びに取り組む児童（学びに向かう力、人間性等）

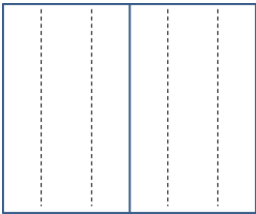

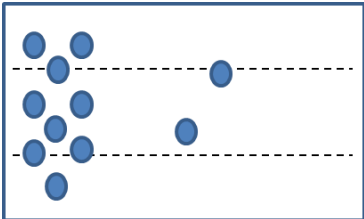

- 個々の目指す児童の姿
- A 簡単な遊び方を工夫するとともに、友達のよいところを見付け、それを取り入れてさらに工夫できる児童
  - B 簡単な遊び方を工夫するとともに、友達のよいところを見付けることができる児童
  - C 友達を見ながらいろいろな動きを行っている児童

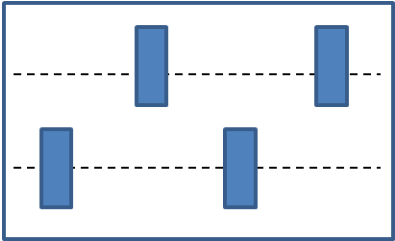
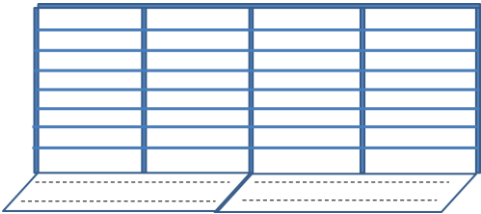
(2) 分科会が考える目指す授業に向けた手立て

①子どもが楽しく学び、達成感をもてる授業に向けた手立て

○場の工夫

児童が準備しやすく、また、遊びを工夫できるような魅力のある場を設定した。

ひろびろコース	ほそみちコース
	
<p><b>動き方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前転がり ・後ろ転がり ・丸太転がり</li> <li>・だるま転がり ・川跳び</li> <li>・動物歩き【犬、馬、うさぎ、あざらし】</li> </ul> <p><b>遊び方の工夫 (例)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の動きを連続、組合せ、速さの強弱、競争、時計回り、そろって</li> </ul>	<p><b>動き方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前転がり ・後ろ転がり ・丸太転がり</li> <li>・だるま転がり ・川跳び</li> <li>・動物歩き【犬、馬、うさぎ、あざらし】</li> </ul> <p><b>遊び方の工夫 (例)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おちないように、まっすぐ、上記の動きを連続、組合せ、速さの強弱、</li> </ul>
赤玉コース	さかみちコース
	
<p><b>動き方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前転がり ・川跳び</li> <li>・動物跳び【犬、馬、うさぎ、あざらし】</li> </ul> <p><b>遊び方の工夫 (例)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤玉にさわらないように、上記の動きを連続、組合せ ・遠くに手をつけて</li> </ul>	<p><b>動き方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前転がり ・後ろ転がり ・丸太転がり</li> <li>・だるま転がり ・川跳び</li> <li>・動物歩き【犬、馬、うさぎ、あざらし】</li> </ul> <p><b>遊び方の工夫 (例)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の動きを連続、組合せ、速さの強弱</li> </ul>

ジグザグランド	ろくぼくランド
	
<p><b>動き方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前転がり ・後ろ転がり ・丸太転がり</li> <li>・だるま転がり ・川跳び</li> <li>・動物歩き【犬、馬、うさぎ、あざらし】</li> </ul> <p><b>遊び方の工夫 (例)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・段ボールにぶつからないように、上記の動きを連続、組合せ、速さの強弱</li> </ul>	<p><b>動き方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・逆立ち ・逆立ち横歩き ・逆立ちからの前転がり</li> </ul> <p><b>遊び方の工夫 (例)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高さ競争</li> <li>・手をクロスして横歩き</li> </ul>

○技術の向上につながる教師の声掛けの工夫

2学年はマットを使った運動遊びではあるが、3学年以降の器械運動につながる動きをしようとしている児童を積極的に称賛し、運動遊びへの意欲付けにつながる言葉掛けを行っていく。

**意識して掛ける言葉 (例)**

- ・かごのように丸くなってゆれている子がいるよ。
- ・すごい。前にクルリンと転がっているよ。
- ・おへそを見て転がっているね。
- ・後ろに転がっている子もいるよ。
- ・手のひらで体を支えているね。
- ・鉛筆のように体をのばして転がっているね。
- ・ひじもピンと伸びているね。
- ・手をしっかりついてはねている子もいるね。
- ・腰が高く上がっているね。

また、自信がもてない児童には、成功回数が多くなる簡単な運動遊びを取り入れさせたり、できたことを称賛したりして、肯定的な働き掛けができるようにするなどの配慮をする。

- ・話の聞き方がすばらしい。
- ・背筋がピンと伸びていいね。
- ・友達を見て、自分もかっこよくしようと思ったんだね。かっこいい。
- ・体育座りがしっかりできているね。
- ・集まるのがはやいね。
- ・よく話を聞いていたね。
- ・素早く取り組もうとしていたね。
- ・何回も繰り返し取り組んでいるね。
- ・準備をがんばっていたね。
- ・片付けを友達と協力してやっていたね。

- ・友達と一緒にやったらできるようになったね。
- ・友達にしっかり声を掛けていたね。

- ・かえるの足打ちが何回できるかやってみよう。
- ・丸太転がりですどっちがはやいか競争してみよう。

### ○遊び方の資料の提示

遊びの工夫がうまく見付けられない児童への支援として、遊ぶ場の近くに、児童が考えた遊び方や工夫を紹介した資料を提示する。教師が児童を観察して、資料を必要としていると感じた場合、この資料を見させて選ばせたり、一緒に選んでいったりすることができるようにする。

## ②友達の良いところを見付け、学び合える授業に向けた手立て

### ○学習カードの工夫

友達の良いところを見付け、お互いにまねし合ったり、声を掛け合ったりして学習ができるよう、学習カードに良かったところを記入する欄を設け、友達との関わりにも意識をもたせていく。

### ○関わり合いをもたせるための工夫

児童が意欲的に運動遊びに取り組むことができるよう、ペアの編成をして、関わり合いをもたせるための工夫を行う。ペアの編成は、生活班の中で2人組をつくり、できるようになったことやかっこよかったことを伝え合えるようにする。それぞれの場で2人組と2人組が一緒になってペアでの動きを見合うこともできるようにする。

### ○よい動きをしている児童への称賛、紹介の工夫

1人で好きな遊びに没頭する低学年という発達段階において、友だちの動きに目を向けるきっかけをつくるのは、教師が果たす大きな役割であると考えられる。そこで、児童がどのような動きがよい動きなのかかわからないうちは、教師は「かっこいいな、すごいな、まねしてみたいな、まねしてやってみたらおもしろかったな」と思う友達の動きを見付けようと声を掛けるようにする。同時に教師は「3年生以降の器械運動につながる動き」をしている児童を見付けて称賛していく。また、それらを広めるために、遊んでいる場ごとや全体などで、よい動きをしていた児童にやらせてみるなどして広めていくことが効果的であると考えた。

5 単元指導計画

時		1	2	3		
本時の主なねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>運動遊びに進んで取り組むことができるようにする。</li> <li>友達と協力して、マットの準備や片付けをすることができるようにする。</li> <li>学習の進め方や約束、準備や片付けの仕方を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動の順番やきまりを守り、誰とでも仲よく運動することができるようにする。</li> <li>運動遊びの行い方を知り、遊び方を工夫することができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達のよい動きを見付けることができるようにする。</li> <li>マットに背中を順番に接触させて、いろいろな方向に転がることのできるようにする。</li> </ul>		
学習活動		1 集合・整列をする。		2 学習の進め方を知る。		
		<p>6 オリエンテーション 「マットをつかって遊ぼう。」 ※運動遊びの行い方や動き方を知り、いろいろな転がりをしたり逆立ちをしたりする。 ○いろいろな動きをやってみる。 ○1年生のときに経験した動きを試す。 ・感覚つくりの運動 ・丸太転がり、前転がり、後ろ転がり、壁登り逆立ち</p>	<p>6 わくわくマットランド 「遊び方を工夫して、いろいろな転がり方で遊ぼう。」 ※運動遊びの行い方や動き方を知り、いろいろな転がりをする。 ○前転がり、後ろ転がり、丸太転がりをして遊ぶ。 ・ひろびろコース ・さかみちコース</p>	<p>6 わくわくマットランド 「友達のよい動きを見付けながら、いろいろな転がり方をして遊ぼう。」 ※運動遊びの行い方や動き方を知り、いろいろな転がりをする。 ○前転がり、後ろ転がり、丸太転がりをして遊ぶ。 ・ほそみちコース ・さかみちコース</p>		
		7 整理運動をする。		8 学習を振り返る。		
評価の重点	学びに向かう力、人間性等	① ②	③			
	思考力、判断力、表現力		①	②		
	運動の技能			①		
児童の具体的な姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>運動遊びに進んで取り組もうとしている。</li> <li>友達と協力して、マットの準備や片付けをしている。</li> <li>学習の進め方や約束、準備や片付けの仕方を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動の順番やきまりを守り、誰とでも仲よく運動している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動遊びの行い方を理解して、遊び方を工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達のよい動きを見付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マットに背中を順番に接触させて、いろいろな方向に転がることのできる。</li> </ul>
つまづきの例		<ul style="list-style-type: none"> <li>進んで運動遊びに取り組まない。</li> <li>マットの片付けや準備を協力して行っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>順番やきまりを守らない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動遊びの行い方を理解していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>よい動きが分からない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>背中を丸めて転がることのできない。</li> </ul>

4	5	6(本時)	7
<ul style="list-style-type: none"> <li>運動の順番やきまりを守り、誰とでも仲よく運動することができるようにする。</li> <li>運動遊びの行い方を知り、遊び方を工夫することができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動する場やマットの使い方などの安全に気を付けようとするができるようにする。</li> <li>マットを使って楽しく遊ぶことができる場や遊び方を選ぶことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動遊びに進んで取り組むことができるようにする。</li> <li>自分で選んだ運動遊びの場で、いろいろな方法で転がったり、逆さで支持をしたりすることができるようにする。</li> </ul>	

3 場の準備をする。

4 準備運動をする。

5 本時の学習のめあてを確認する。

<p>6 わくわくマットランド 「遊び方を工夫して、逆さになって遊ぼう。」 ※運動遊びの行い方や動き方を知り、様々な姿勢で逆立ちや移動をする。 ○壁登り逆立ち、腕支持での川跳びをして遊ぶ。 ・ジグザグコース ・ろくぼくコース</p>	<p>6 わくわくマットランド 「友達のかっこいいところを見付けよう。」 「いろいろな遊び方を選んでわくわくマットランドで遊ぼう。」 ※場や遊び方を選び、動きを広げる。 ○前転がり、後ろ転がり、丸太転がり、壁登り逆立ち、支持での川跳びをして遊ぶ。 ・ひろびろコース ・ジグザグコース ・ほそみちコース ・さかみちコース ・赤玉コース ・ろくぼくコース</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>発表</b></p> <p>ペア・グループで、どんな遊びができたかを発表する。</p> </div>
--	---

9 場の片付けをする。

10 集合・整列をする。

③		④	①				
①	②	③					
	②		③				
<ul style="list-style-type: none"> <li>運動の順番やきまりを守り、誰とでも仲よく運動しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動遊びの行い方を理解して、遊び方を工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達のよい動きを見付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手や背中で体を支えて様々な姿勢で逆立ちや移動をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動する場やマットの使い方などの安全に気を付けようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マットを使って楽しく遊ぶことができる場や遊び方を選んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動遊びに進んで取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>選んだ運動遊びの場で、いろいろな方法で転がったり、逆さでの腕支持をしたりすることができる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>順番やきまりを守らない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動遊びの行い方を理解していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>よい動きが分からない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>両手で体を支えることができず、逆立ちをすることができない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マットや道具がずれていても、もとに戻そうとしない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しく遊ぶことができない場や遊び方が分からない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進んで運動遊びに取り組まない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な方向へ転がったり、両手で体を支えたりできない。</li> </ul>

6 本時の展開（6／7時間）

(1) ねらい

【学びに向かう力、人間性等】

運動する場やマットの使い方などの安全に気を付けようとするができるようにする。

【思考力・判断力・表現力】

マットを使って楽しく遊ぶことができる場や遊び方を選んでいく。

(2) 展開

学習活動	○指導上の留意点 ◇評価
1 集合・整列をする。 2 学習の進め方を知る。 3 準備運動をする。 4 感覚づくりの運動をする。 ・ゆりかご、動物歩き、背支持倒立 かえるの足打ち、ブリッジ 5 場の準備をする。	○掲示物を用いて、本時の学習の進め方を説明する。 ○マットで使う、部位を意識した運動を行う。 ○音楽に合わせてゆっくり行えるようにする。(心のストレッチ) ○回転感覚や腕支持感覚が味わえる動きを取り入れる。 (体のストレッチ) ○友達と協力して、準備をしている児童を称賛する。素早く安全に準備を行うように言葉掛けをする。 ○マットを置く位置を、図を用いて明確に指示を出す。
6 本時の学習のめあてを確認する。	○掲示物を用いて、本時のめあてを確認する。
いろいろな動き方や遊び方をして遊ぼう	
7 わくわくマットランド ○ それぞれの場でいろいろな転がり方をして遊ぶ。(ペアでまわる。)  ・ひろびろコース ・ジグザグコース ・細道コース ・坂道コース ・ろくぼくコース ・赤玉コース  ○ よい動きを共有する。  ○ もう一度取り組む。	○運動遊びの動き方(丸太転がり、前転がり、後ろ転がり)を確認する。 ○それぞれの場でいろいろな動きや遊び方をして遊ぶ。 ○運動遊びの行い方を理解し、場や遊び方を選んだり、工夫したりしている児童を称賛する。 ◇【学びに向かう力、人間性等】運動する場やマットの使い方などの安全に気を付けようとするができるようにする。  ○どのような動きや遊びができるのかを聞き、全体に広める。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                         運動遊びが苦手な児童への配慮                          ○ゆりかごをやってみよう。                          ○坂道の場でやってみよう。                          ・前手をマットに付けて体を支えよう                          ・後おしりをつけてから転がってみよう。                          ○違う場でやってみよう。                          ・坂道でやってみよう。                          ○友達と一緒にやってみよう。                          ・友達のまねをして一緒にやってみよう。                     </div> ◇【思考力・判断力・表現力】マットを使って楽しく遊ぶことができる場や遊び方を選んでいく。
8 整理運動をする。 9 学習を振り返る。 10 場の片付けをする。 11 集合・整列をする。	○使用した部位を中心に整理運動をするように指示する。 ○めあての達成状況や感想を発表させる。  ○安全に留意して、すばやく片付ける。

(3) 授業観察の視点

○場の設定は、動きや遊びが工夫出来るものになっていたか。

○関わり合いをもたせる工夫として、ペアの編成は有効であったか。



※参考資料

平成29年度教育会体育部 小中一貫教育における系統的な指導の工夫  
～器械・器具を使っての運動遊びマットを使った運動遊びの学習を通して～